

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度			
1	太陽光発電導入促進事業(メガソーラー発電所計画)	環境局 再生可能エネルギー推進課	その他	○事業開始年度 平成22年度 【概要】「鹿児島市メガソーラー発電所計画」に基づき、公共施設に太陽光発電システムを設置する。平成22～26年度までの5年間で1メガワット、平成32年度までに3メガワット(既導入施設を含む)の導入を計画している。 【対象】公共施設 【具体的な活動内容】 ・年次計画の策定 ・施設所管課が導入した太陽光発電システムの状況把握 ・HPによる広報・啓発	国・県補助	[概算コスト] 84,485 (内訳) ・決算額 83,693 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 223,014 (内訳) ・決算額 222,229 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 138,439 (内訳) ・決算額 137,661 ・人件費 778 (0.10人)	[概算コスト] 253,241 (内訳) ・決算額 252,467 ・人件費 774 (0.10人)	設置施設数 (単位:施設) 3 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 9 9 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 14 14 <達成率> 100.0%	累計出力 (単位:kW) 1,000 917 <達成率> 91.7%	[目標値] 1,000 1,197 <達成率> 119.7%	[目標値] 1,000 1,342 <達成率> 134.2%	[目標値] 1,000 1,000 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 公共施設への太陽光発電の導入促進を図ることにより、地球温暖化防止に寄与することから必要な事業であるが、未利用の市有地への設置についても検討するなど計画達成に向けてより一層取り組みべきである。
2	環境対応車普及促進対策補助事業	環境局 再生可能エネルギー推進課	助成・育成	○事業開始年度 平成18年度 【概要】運輸部門における温室効果ガス排出量の約7割を自動車占めており、その削減を進めることが求められていることから、その中の民間事業者について、環境対応車の普及を促進し、運輸部門全体の温室効果ガス排出量削減につなげるため、天然ガストラック及びハイブリッドトラックを購入する事業者に対して補助を行う。 【対象者】自ら使用する目的で天然ガストラック及びハイブリッドトラックを購入し、当該車両の使用の本拠を市内に置く事業者で、市税を滞納していない者。 【具体的な活動内容】 ディーラーや県トラック協会、経済団体等への広報、情報収集、補助金交付事務(補助額:10万円/台)	市単	[概算コスト] 1,092 (内訳) ・決算額 300 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 985 (内訳) ・決算額 200 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 978 (内訳) ・決算額 200 ・人件費 778 (0.10人)	[概算コスト] 1,774 (内訳) ・決算額 1,000 ・人件費 774 (0.10人)	補助台数 (単位:台) 20 3 <達成率> 15.0%	[目標値] 20 2 <達成率> 10.0%	[目標値] 20 2 <達成率> 10.0%	[目標値] 10 10 <達成率> 100.0%	地球温暖化対策アクションプランの運輸部門の温室効果ガス排出量削減率(28年度目標、2年度比) (単位:%) -3 -22.9 (21年度) -3 -22.4 (22年度) 未達成 未達成	[目標値] -3 -22.9 (21年度) -3 -22.4 (22年度) 未達成 未達成	[目標値] -3 -22.4 (22年度) 未達成	[目標値] -3 -22.4 (22年度) 未達成	A	B	見直し (理由) 温室効果ガス排出量が最も多い運輸部門の削減を進めるためには必要な事業であるが、実績が少なく活用されていないことから、広報周知策を含め工夫すべきである。
3	環境管理事業所認定事業	環境局 環境保全課	許可・検査	○事業開始年度 平成17年度 【概要】事業活動による環境への負荷の低減を図るために、市が定めた「環境管理指針」に沿って適正に環境管理を実施している事業所を「環境管理事業所」として認定する。 【対象者】事業者 【具体的な活動内容】 ・環境管理事業所の認定 ・環境管理の実施に熱意をもって取り組み、他の模範となる事業所の表彰	市単	[概算コスト] 5,014 (内訳) ・決算額 2,479 ・人件費 2,535 (0.32人)	[概算コスト] 5,913 (内訳) ・決算額 3,401 ・人件費 2,512 (0.32人)	[概算コスト] 6,381 (内訳) ・決算額 3,893 ・人件費 2,488 (0.32人)	[概算コスト] 6,625 (内訳) ・決算額 4,148 ・人件費 2,477 (0.32人)	新規認定事業所数 (単位:件) 50 16 <達成率> 32.0%	[目標値] 100 44 <達成率> 44.0%	[目標値] 130 39 <達成率> 30.0%	[目標値] 130 130 <達成率> 100.0%	年度末における認定事業所数 (単位:件) 508 426 <達成率> 83.9%	[目標値] 526 454 <達成率> 86.3%	[目標値] 584 464 <達成率> 79.5%	[目標値] 594 594 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 事業活動による環境への負荷低減を図るために必要な事業であるが、新規認定事業所数等が目標を下回っていることから、認定されることの社会的評価の向上を図る取組みや新たなインセンティブの検討など費用対効果を勘案し、見直しを実施すべきである。
4	“美味のまち鹿児島”魅力づくり事業	経済局 観光振興課	イベント	○事業開始年度 平成21年度 【概要】本市の魅力の1つである「食」をテーマにしたイベントやキャンペーン等を行う「美味のまち鹿児島」「薩摩美味(うんまか)維新」を四季折々に実施する。 【対象者】市民及び観光客 【具体的な活動内容】 ・会場を設けて鹿児島産の食材を使った料理や地元産の焼酎等を販売する「宴(たいやめ)まつり」 ・チケットを使って飲食店の食べ歩き・飲み歩きを行う「美味(うんまか)めぐり」など	国補助	[概算コスト] 19,606 (内訳) ・決算額 12,000 ・人件費 7,606 (0.96人)	[概算コスト] 19,535 (内訳) ・決算額 12,000 ・人件費 7,535 (0.96人)	[概算コスト] 20,709 (内訳) ・決算額 12,000 ・人件費 8,709 (1.12人)	[概算コスト] 20,670 (内訳) ・決算額 12,000 ・人件費 8,670 (1.12人)	“美味のまち鹿児島”「薩摩美味維新」の開催回数 (単位:回) 4 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 4 <達成率> 100.0%	会場設置型イベントの平均来場者数 (単位:人) 4,950 7,166 <達成率> 144.8%	[目標値] 7,166 4,750 <達成率> 66.3%	[目標値] 4,750 5,500 <達成率> 115.8%	[目標値] 5,500 5,500 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 「食」を生かした魅力づくりと情報発信が図られ、本市の観光振興に寄与する必要な事業であるが、より集客力を高められるよう観光客等へのPR策も含め内容を見直すべきである。
5	かごしま温泉活性化事業	経済局 観光振興課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成16年度 【概要】温泉都市「鹿児島」をPRするために温泉ガイドマップを発行するとともに、足湯の維持管理を行う。 【対象者】観光客及び市民 【具体的な活動内容】 ・温泉ガイドマップの増刷 ・「ドルフィンポート足湯」及び「桜島」溶岩なぎさ公園足湯」の維持管理	市単	[概算コスト] 23,795 (内訳) ・決算額 23,003 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 25,837 (内訳) ・決算額 25,052 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 25,210 (内訳) ・決算額 24,432 ・人件費 778 (0.10人)	[概算コスト] 25,822 (内訳) ・決算額 25,048 ・人件費 774 (0.10人)	稼働日数 (単位:日) 365 365 <達成率> 100.0%	[目標値] 365 365 <達成率> 100.0%	[目標値] 365 365 <達成率> 100.0%	[目標値] 365 365 <達成率> 100.0%	「桜島」溶岩なぎさ公園足湯利用者数 (単位:人) 52,300 55,400 <達成率> 105.9%	[目標値] 55,400 49,100 <達成率> 88.6%	[目標値] 49,100 53,200 <達成率> 108.4%	[目標値] 53,200 53,200 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 温泉都市「鹿児島」をPRするために必要な事業であるが、パンフレットの作成にあたっては、広告掲載や民間との協働による作成など、効果的な手法を検討すべきである。
6	鹿児島ぶらりまち歩き推進事業	経済局 観光プロモーション課	助成・育成	○事業開始年度 平成18年度 【概要】旅行スタイルの変化により、滞在先での楽しみを増やす着地型観光が求められていることから、観光ガイドの解説を受けながらまち歩きを楽しめる環境を整備し、本市の個性を生かした着地型観光の充実を図る。 【対象者】観光客 【具体的な活動内容】 ・ガイドの解説を受けながらまち歩きを楽しめる「鹿児島ぶらりまち歩き」を実施する鹿児島観光コンベンション協会に運営補助する。 ・JRと連携した関連イベント(JRウォーク)等を実施する。	国補助	[概算コスト] 22,781 (内訳) ・決算額 22,464 ・人件費 317 (0.04人)	[概算コスト] 22,172 (内訳) ・決算額 21,858 ・人件費 314 (0.04人)	[概算コスト] 21,073 (内訳) ・決算額 20,762 ・人件費 311 (0.04人)	[概算コスト] 23,062 (内訳) ・決算額 22,752 ・人件費 310 (0.04人)	コース数 (単位:コース) 16 16 <達成率> 100.0%	[目標値] 22 22 <達成率> 100.0%	[目標値] 24 24 <達成率> 100.0%	[目標値] 24 24 <達成率> 100.0%	まち歩きガイド案内客数 (単位:人) 2,900 3,807 <達成率> 131.3%	[目標値] 3,500 3,233 <達成率> 92.4%	[目標値] 3,800 3,870 <達成率> 101.8%	[目標値] 4,200 4,200 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 着地型観光の充実を図るために必要な事業であるが、中学生以下は無料であることから、他都市の状況等も踏まえ、費用負担のあり方について見直すとともに、より集客力が高められるよう広報周知策を工夫すべきである。

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度				25年度	26年度
7	もっと知ろうよ観光かごしま講師派遣事業	経済局 観光プロモーション課	助成・育成	○事業開始年度 平成24年度 【概要】市内の団体が観光資源やおもてなしに関する研修会を実施する際に、鹿児島県の観光リーダーとして、各分野において専門的な知識をもつ講師を派遣し、市民の観光資源に関する知識やおもてなしの意識の向上を図る。 【対象者】学校や町内会、NPO等の団体で、10名以上の参加が見込めるところ。 【具体的な活動内容】 ・講師の派遣は1回あたり2時間以内とし、講師謝金を市が負担する。	市単	[概算コスト] 135 (内訳) ・決算額 72 ・人件費 (0.00人)	[概算コスト] 179 (内訳) ・決算額 117 ・人件費 (0.01人)	[概算コスト] 242 (内訳) ・決算額 180 ・人件費 (0.01人)	[概算コスト] 242 (内訳) ・決算額 180 ・人件費 (0.01人)	講師の派遣回数 (単位:回)	[目標値] 10 [実績値] 4 <達成率> 40.0%	[目標値] 10 [実績値] 7 <達成率> 70.0%	[目標値] 10 [実績値] 7 <達成率> 70.0%	[目標値] 10 [実績値] 7 <達成率> 70.0%	研修会参加者数 (単位:人)	[目標値] 200 [実績値] 207 <達成率> 103.5%	[目標値] 200 [実績値] 632 <達成率> 316.0%	[目標値] 200 [実績値] 632 <達成率> 316.0%	[目標値] 200 [実績値] 632 <達成率> 316.0%	A	B	見直し (理由) 市民の観光資源に関する知識やおもてなしの意識の向上を図るために必要な事業であるが、事業効果を把握できるようなアンケート等を実施するとともに、さらに活用されるよう広報周知策を工夫すべきである。
8	本物の旅かごしま誘客拡大キャンペーン事業負担金	経済局 観光プロモーション課	その他	○事業開始年度 平成21年度 【概要】県や関係団体等と連携し、観光キャンペーンを実施することにより、首都圏・関西・中国地区等からの誘客を図る観光かごしま大キャンペーン推進協議会に対し、負担金を支出する。 【対象者】観光客 【具体的な活動内容】 ・明治維新150周年特別キャンペーン事業 ・本物の旅かごしま誘客拡大キャンペーン ・九州新幹線全線開業特別キャンペーン事業	市単	[概算コスト] 10,317 (内訳) ・決算額 10,000 ・人件費 (0.04人)	[概算コスト] 10,314 (内訳) ・決算額 10,000 ・人件費 (0.04人)	[概算コスト] 10,311 (内訳) ・決算額 10,000 ・人件費 (0.04人)	[概算コスト] 10,310 (内訳) ・決算額 10,000 ・人件費 (0.04人)	取組事業数 (単位:事業)	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	宿泊観光客数 (単位:千人)	[目標値] 3,300 [実績値] 3,261 <達成率> 98.8%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,171 <達成率> 90.6%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,336 <達成率> 95.3%	[目標値] 3,500 [実績値] 3,336 <達成率> 95.3%	A	B	見直し (理由) 推進協議会の一般事業に対しては、別途負担金を支出しており、21年度から続く当該特別事業については、終期の設定を具体的に検討すべきである。
9	観光印刷物等活用宣伝事業	経済局 観光プロモーション課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和55年度 【概要】本市の認知度の向上、本市への観光動機の形成、または、実際に訪問した観光客への現地情報提供等のため、その機能を持つ印刷物を活用する。 【対象者】観光客等 【具体的な活動内容】 ・パンフレット等の増刷、発送等	市単	[概算コスト] 28,524 (内訳) ・決算額 27,534 ・人件費 (0.13人)	[概算コスト] 23,123 (内訳) ・決算額 22,495 ・人件費 (0.08人)	[概算コスト] 26,902 (内訳) ・決算額 25,930 ・人件費 (0.13人)	[概算コスト] 24,785 (内訳) ・決算額 24,166 ・人件費 (0.08人)	観光印刷物の種類 (単位:種類)	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 16 [実績値] 16 <達成率> 100.0%	[目標値] 16 [実績値] 16 <達成率> 100.0%	郵送配布部数 (単位:部)	[目標値] 300,000 [実績値] 356,832 <達成率> 118.9%	[目標値] 300,000 [実績値] 297,705 <達成率> 99.2%	[目標値] 300,000 [実績値] 275,869 <達成率> 92.0%	[目標値] 300,000 [実績値] 275,869 <達成率> 92.0%	A	B	見直し (理由) 本市の認知度の向上や実際に訪問した観光客への現地情報提供のために必要な事業であるが、パンフレットの作成にあたっては、広告掲載や民間との協働による作成など、効率的・効果的な手法を検討すべきである。
10	おはら祭の開催	経済局 観光振興課	イベント	○事業開始年度 昭和24年度 【概要】南九州を代表するまつりである「おはら祭」を、多くの観光客を誘致できる魅力的なイベントとして開催し、観光都市鹿児島のアピールにつなげる。 【対象者】市民及び観光客 【具体的な活動内容】 ・11月2日「夜まつり」(総踊り) ・11月3日「本まつり」1部:総踊り、2部:パレード・マーチング&伝統芸能、3部:総踊り、4部:ダンスタイム「オハラ21」	市単	[概算コスト] 53,810 (内訳) ・決算額 46,679 ・人件費 (0.90人)	[概算コスト] 45,764 (内訳) ・決算額 38,700 ・人件費 (0.90人)	[概算コスト] 45,698 (内訳) ・決算額 38,700 ・人件費 (0.90人)	[概算コスト] 46,767 (内訳) ・決算額 39,800 ・人件費 (0.90人)	踊り連等参加者数 (単位:人)	[目標値] 24,751 [実績値] 25,500 <達成率> 103.0%	[目標値] 25,500 [実績値] 25,658 <達成率> 100.6%	[目標値] 25,658 [実績値] 23,979 <達成率> 93.5%	[目標値] 23,979 [実績値] 23,979 <達成率> 100.0%	祭り観客数 (単位:人)	[目標値] 214,751 [実績値] 275,500 <達成率> 128.3%	[目標値] 275,500 [実績値] 255,658 <達成率> 92.8%	[目標値] 255,658 [実績値] 263,979 <達成率> 103.3%	[目標値] 263,979 [実績値] 263,979 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 多くの観光客を誘致するため、より魅力的なイベントとなるよう内容等について、見直しを検討すべきである。
11	明治維新150年カウントダウン事業	経済局 観光プロモーション課	イベント	○事業開始年度 平成24年度 【概要】観光振興をはじめ地域経済の活性化を図るため、明治維新から150年の節目にあたる2018(平成30)年に向け、24年からの7年間、その年ごとに近代日本の礎を築いた鹿児島に関わりが深い出来事を題材とするイベントを開催する。 【対象者】市民、観光客 【具体的な活動内容】 ・講演会等のイベントの開催	国補助	[概算コスト] 6,317 (内訳) ・決算額 4,433 ・人件費 (0.00人)	[概算コスト] 19,068 (内訳) ・決算額 13,780 ・人件費 (0.24人)	[概算コスト] 15,838 (内訳) ・決算額 10,574 ・人件費 (0.68人)	[概算コスト] 15,838 (内訳) ・決算額 10,574 ・人件費 (0.68人)	イベントの開催件数 (単位:件)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	イベント等の参加者数 (単位:人)	[目標値] 645 [実績値] 620 <達成率> 96.1%	[目標値] 5,860 [実績値] 4,274 <達成率> 72.9%	[目標値] 5,100 [実績値] 4,274 <達成率> 83.8%	[目標値] 5,100 [実績値] 4,274 <達成率> 83.8%	A	B	見直し (理由) 観光振興をはじめ地域経済の活性化に寄与する必要な事業であるが、市民を始め、機運の醸成を図るため、他のイベント等の連携やPRに取り組むべきである。
12	国際交流活動助成事業	総務局 国際交流課	助成・育成	○事業開始年度 平成3年度 【概要】民間団体の創意工夫による効果的な国際交流事業の実施を促進するとともに、国際交流事業を行う民間団体の育成を図り、もって本市の国際交流、国際協力及び多文化共生の促進に寄与するため、助成を行う。 【対象者】本市を拠点とし国際交流事業を実施する民間団体 【具体的な活動内容】助成金の交付 ・一般の事業:事業に要する経費の1/2以内の額(上限50万円) ・姉妹友好都市からの招へいによる渡航事業:往復航空運賃×1/3×渡航人数又は10万円×渡航人数のいずれか少ない額(上限100万円)+事業に要する経費の1/2以内の額(上限50万円)	市単	[概算コスト] 1,540 (内訳) ・決算額 748 ・人件費 (0.10人)	[概算コスト] 3,752 (内訳) ・決算額 2,967 ・人件費 (0.10人)	[概算コスト] 2,652 (内訳) ・決算額 1,874 ・人件費 (0.10人)	[概算コスト] 4,574 (内訳) ・決算額 3,800 ・人件費 (0.10人)	補助金交付件数 (単位:件)	[目標値] 8 [実績値] 2 <達成率> 25.0%	[目標値] 8 [実績値] 6 <達成率> 75.0%	[目標値] 8 [実績値] 6 <達成率> 75.0%	[目標値] 8 [実績値] 6 <達成率> 75.0%	参加人数 (単位:人)	[目標値] 10,005 [実績値] 8,575 <達成率> 85.7%	[目標値] 10,540 [実績値] 10,081 <達成率> 95.6%	[目標値] 1,043 [実績値] 1,033 <達成率> 99.0%	[目標値] 1,033 [実績値] 1,033 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 本市の国際交流活動や国際化を促進するために必要な事業であるが、補助金交付件数が毎年度目標値に達していないことから、より多くの団体に利用して貰えるよう広報周知策を含め工夫すべきである。

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度			
13	姉妹友好都市等との周年事業	総務局 国際交流課	その他	○事業開始年度 昭和35年度 【概要】本市と姉妹友好都市、兄弟都市との盟約締結の周年を記念して式典等を実施し、さらなる親善を深める。 【対象者】姉妹都市等からの来訪者、姉妹都市等への派遣者及び交流事業に関わる市民等 【具体的な活動内容】 ・姉妹都市等からの訪問団の受入、姉妹都市等への訪問団の派遣、記念式典の開催 など	市単	[概算コスト] 16,741 (内訳) ・決算額 13,572 ・人件費 3,169 (0.40人)	[概算コスト] 5,169 (内訳) ・決算額 2,029 ・人件費 3,140 (0.40人)	[概算コスト] 23,589 (内訳) ・決算額 20,493 ・人件費 3,096 (0.00人)	[概算コスト] 23,589 (内訳) ・決算額 20,493 ・人件費 3,096 (0.40人)	周年行事数 (単位:件) 1 1 1 0 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 0 0.0%	[目標値] 2 [実績値] 0 0.0%	[目標値] 2 [実績値] 0 0.0%	派遣者数及び受入者数 (単位:人) 10 10 100.0%	[目標値] 70 [実績値] 0 0.0%	[目標値] 36 [実績値] 0 0.0%	A	B	見直し (理由) 本市の国際交流の活性化が促進されることから、必要な事業であるが、さらなる市民への広報周知策を含め工夫すべきである。	
14	外国人留学生等との交流事業	総務局 国際交流課	その他	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】外国人留学生の学業の充実と本市への理解促進を図るために、図書カード及び共通乗車カードを贈呈する。また、本市に滞在した外国人との間に培われた友好の絆を帰国後も持続させ、本市の幅広い国際交流の推進を図るため、フレンドシップパートナーを委嘱する。 【対象者】本市に居住する外国人留学生、帰国する外国人で本市に1年以上滞在した留学生、ALT等 【具体的な活動内容】 ・図書カード(5万円分)及び共通乗車カード(1万円分)の贈呈 ・委嘱状等の交付。フレンドシップパートナーに対して本市の情報を提供、フレンドシップパートナーは本市の情報を自国で紹介し、本市の	市単	[概算コスト] 23,105 (内訳) ・決算額 21,520 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 24,387 (内訳) ・決算額 22,817 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 21,806 (内訳) ・決算額 20,251 ・人件費 1,555 (0.20人)	[概算コスト] 23,974 (内訳) ・決算額 22,426 ・人件費 1,548 (0.20人)	図書カード等贈呈者数 (単位:人) 320 368 115.0%	[目標値] 370 [実績値] 389 105.1%	[目標値] 410 [実績値] 354 86.3%	[目標値] 380 [実績値] 17 106.3%	フレンドシップパートナーの委嘱者数 (単位:人) 16 13 81.3%	[目標値] 16 [実績値] 10 62.5%	[目標値] 16 [実績値] 17 106.3%	A	B	見直し (理由) 外国人留学生の学業の充実を図ることは、国際都市を目指す本市にとって必要な事業であるが、図書カード等の交付については、他都市の状況や効果を踏まえ、見直すべきである。	
15	アジア青少年芸術祭の開催	総務局 国際交流課	イベント	○事業開始年度 平成17年度 【概要】アジア各国と鹿児島市の青少年が一堂に集い、音楽を中心とする芸術を通して、青少年の国際性を育み、郷土への誇りと熱い志を持つ青少年の育成を図るとともに、市民の国際交流意識の高揚を図る。 【対象者】全市民 【具体的な活動内容】年1回開催、 ・主催:かごしまアジア青少年芸術祭実行委員会(鹿児島市、南日本新聞社、南日本放送、鹿児島シティエフエムほか) ・内容:①青少年音楽祭 ②アジアムステージ ③アジアム屋台 など	国補助	[概算コスト] 22,929 (内訳) ・決算額 16,591 ・人件費 6,338 (0.80人)	[概算コスト] 23,233 (内訳) ・決算額 16,954 ・人件費 6,279 (0.80人)	[概算コスト] 27,652 (内訳) ・決算額 21,431 ・人件費 6,221 (0.80人)	[概算コスト] 23,098 (内訳) ・決算額 21,550 ・人件費 1,548 (0.20人)	来場者数 (単位:人) 8,620 8,100 94.0%	[目標値] 8,100 [実績値] 9,050 111.7%	[目標値] 9,050 [実績値] 9,424 104.1%	[目標値] 9,424 [実績値] 82 102.1%	アンケートで青少年音楽祭に満足した人の割合 (単位:%) 80 85 105.8%	[目標値] 80 [実績値] 83 104.3%	[目標値] 80 [実績値] 82 102.1%	A	B	見直し (理由) 国際性豊かな青少年の育成を図るために必要な事業であるが、実施スタイルが固定化されており、国庫補助金の対象外となっているものもあることから、財源を確保するとともに、来場者の増が図られるよう見直すべきである。	
16	観光農業公園交流体験事業	経済局 グリーンツーリズム推進課	イベント	○事業開始年度 平成24年度 【概要】市民や観光客が農業等に親しみを感じ、利用者間の交流を図るため、農業、自然、食、環境をテーマにした体験プログラムの実施及びイベント開催を行う。 【対象者】市民、観光客 【具体的な活動内容】 ・体験プログラムの実施 ・体験用農地等の管理 ・鹿児島市観光農業公園運営協議会によるイベントの開催等	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 28,754 ・人件費 7,535 (0.00人)	[概算コスト] 36,289 (内訳) ・決算額 48,992 ・人件費 14,930 (0.96人)	[概算コスト] 63,922 (内訳) ・決算額 52,579 ・人件費 14,930 (1.92人)	[概算コスト] 60,010 (内訳) ・決算額 52,579 ・人件費 7,431 (0.96人)	体験プログラムの実施回数 (単位:回) (実績値) 563 104.3%	[目標値] 540 [実績値] 1,383 96.0%	[目標値] 1,440 [実績値] 24,000 95.0%	[目標値] 1,440 [実績値] 24,000 95.0%	体験者数 (単位:人) (実績値) 9,000 60.6%	[目標値] 9,000 [実績値] 5,450 60.6%	[目標値] 24,000 [実績値] 22,799 95.0%	A	B	見直し (理由) 観光農業公園において、体験プログラムは重要なソフト事業であり、必要な事業であるが、来園者数が増加するように、体験プログラムのさらなる充実を図るべきである。	
17	観光農業公園広報事業	経済局 グリーンツーリズム推進課	啓発・広報	○事業開始年度 平成24年度 【概要】季刊誌の発行やホームページの管理を通じて、市民や観光客への体験プログラム等の周知を行うことにより、利用者の増を図る。 【対象者】市民、観光客 【具体的な活動内容】 ・パンフレット等の作成、配布 ・季刊誌の作成、配布 ・ホームページの管理	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 4,928 ・人件費 3,768 (0.00人)	[概算コスト] 8,696 (内訳) ・決算額 2,990 ・人件費 3,768 (0.48人)	[概算コスト] 6,722 (内訳) ・決算額 2,990 ・人件費 3,732 (0.48人)	[概算コスト] 8,911 (内訳) ・決算額 5,195 ・人件費 3,716 (0.48人)	季刊誌の発行部数 (単位:部) (実績値) 10,000 100.0%	[目標値] 10,000 [実績値] 45,000 100.0%	[目標値] 45,000 [実績値] 300,000 666.7%	[目標値] 300,000 [実績値] 209,100 69.7%	来園者数 (単位:人) (実績値) 112,500 80.4%	[目標値] 112,500 [実績値] 90,500 80.4%	[目標値] 300,000 [実績値] 209,100 69.7%	A	B	見直し (理由) 観光農業公園の広報を行うものであり必要な事業であるが、来園者数が目標値を達成していないことから、認知度の向上に向けて、さらなる広報周知策を工夫すべきである。	
18	街なかサービス推進事業	経済局 産業支援課	その他	○事業開始年度 平成24年度 【概要】中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、天まちサロンにおいて観光・イベント情報の提供やベビーカー貸出など街なかサービスのほか、特産品等の展示販売などを行う。 【対象者】市民・観光客等 【具体的な活動内容】下記の業務を委託し実施 ・来街者サービス(ベビーカー貸出、手荷物預かり等) ・観光情報、特産品等の情報提供 ・特産品等の展示・販売、にぎわい創出イベントの実施 ・空き店舗見学会、空き店舗対策セミナーの開催 ・中心市街地回遊行動調査の実施	国補助	[概算コスト] (内訳) ・決算額 38,434 ・人件費 3,532 (0.00人)	[概算コスト] 41,966 (内訳) ・決算額 32,833 ・人件費 2,955 (0.45人)	[概算コスト] 35,788 (内訳) ・決算額 32,365 ・人件費 2,955 (0.38人)	[概算コスト] 33,449 (内訳) ・決算額 32,365 ・人件費 1,084 (0.14人)	開館日 (単位:日) ※24年度は6月以降の値 (実績値) 302 100.0%	[目標値] 302 [実績値] 363 100.0%	[目標値] 363 [実績値] 73,317 202.0%	[目標値] 363 [実績値] 73,317 202.0%	利用者 (単位:人) ※24年度は6月以降の値 (実績値) 30,200 112.8%	[目標値] 30,200 [実績値] 34,063 112.8%	[目標値] 60,000 [実績値] 73,317 122.2%	A	B	見直し (理由) 中心市街地の活性化に必要な事業であるが、利便性の向上策を図り、利用者増となるよう事業内容を見直すべきである。	

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由			
						23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度				25年度	26年度	
19	わくわく福祉交流フェア事業	健康福祉局 地域福祉課	イベント	○事業開始年度 平成24年度 【概要】子ども、高齢者、障害者、ボランティアをはじめ、多くの市民や福祉施設、福祉関係団体等の参加のもとに、多彩な催しを通して相互交流するなかで、ボランティア活動や福祉交流を広げることを目的に、中央公園等で開催する。 【対象者】わくわく福祉交流フェア実行委員会 【具体的な活動内容】 ・ステージイベント(ミニコンサート等)、体験発表、バザー、模擬店、パネル展示コーナー、ふれあい広場、天文館コーナー等	国補助	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.75人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.75人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.75人)	各種コーナー及びイベント数 (単位:件)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	来場者数 (単位:人)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	B	見直し (理由) ボランティア活動や福祉活動を行う市民同士の相互交流と各活動の広報啓発に寄与しているが、来場者数が目標値に比べ少ないことから、さらなる来場者増に向けた取組を検討するとともに、効果を把握できるようなアンケートを実施すべきである。	
20	市社会福祉協議会補助事業	健康福祉局 地域福祉課	助成・育成	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】社会福祉法第109条に基づき、地域福祉を推進することを目的として設置された市社会福祉協議会に対し、人件費等の助成として補助金を交付するものである。 【対象者】鹿児島市社会福祉協議会 【具体的な活動内容】 ・市社会福祉協議会の本部事務職員や各支部職員、コミュニティセンター、ボランティアセンターの職員等の人件費及び事務費を補助する。	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.50人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.50人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.50人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.50人)	補助対象人員 (単位:人)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	市社会福祉協議会総事業費(一般会計) (単位:千円)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	B	見直し (理由) 地域福祉の中心として様々な役割を担っており必要な事業であるが、運営補助であることから、助成のあり方を検討すべきである。	
21	ゆうあいガイドブック作成事業	健康福祉局 障害福祉課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和34年度 【概要】障害者やその家族に対して、各種福祉制度の概要や手続き方法等を紹介するガイドブックを作成し、障害者の在宅生活の質の向上や社会参加の促進等を図る。 【対象者】障害者、障害者の家族、関係機関、関係団体及び施設職員等 【具体的な活動内容】 ・ゆうあいガイドブックの作成及び配付(制度改正等に応じて作成)	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.16人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.16人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人)	配布冊数 (単位:冊)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	福祉サービス及び各種制度の周知	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	B	見直し (理由) 障害福祉サービスの制度周知・広報に寄与しており、必要な事業であるが、冊子の作成にあたっては、広告掲載や民間との協働による作成など、効率的・効果的な手法を検討すべきである。	
22	ひとり暮らし障害者等安心通報システム設置事業	健康福祉局 障害福祉課	助成・育成	○事業開始年度 平成25年度 【概要】重度身体障害者等の生活の安全を確保するとともに、障害者の不安を解消するため、ひとり暮らし障害者安心通報システムを設置し、通報やセンサー異常の際に、警備会社の安否確認や救急車の出動要請を行う。 【対象者】 ①65歳未満のひとり暮らしの重度身体障害者(1・2級) ②65歳未満の重度身体障害者(1・2級)のみの世帯 ③②と同程度の世帯 【具体的な活動内容】 ・システムの設置、保守点検、修繕、移設、撤去等 ・利用者からの緊急通報受信時、センサー等の異常感知時の対応	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.10人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.10人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.10人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.10人)	設置台数 (単位:台)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	在宅の一人暮らし重度心身障害者の生活の安全確保と不安解消	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	B	見直し (理由) 在宅の一人暮らしの重度身体障害者の在宅での生活に必要な事業であるが、システムの利用者が少ないことから、旧システムからの早期移行を促進し、より多くの利用が図られるよう広報周知策を含め工夫すべきである。	
23	重度身体障害者住宅リフォームヘルパー事業	健康福祉局 障害福祉課	助成・育成	○事業開始年度 平成9年度 【概要】重度身体障害者の在宅の改造を行う際に、リフォームヘルパーを派遣して相談に応じ、適切なアドバイスを行うことで、重度身体障害者の住環境の改善を図る。 【対象者】重度身体障害者(1、2級) 【具体的な活動内容】 ・リフォームヘルパーが身体状況や家屋の状況等を踏まえた上で相談に応じ、適切な助言を行う。また、施行者その他の連絡調整を行う。	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.01人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.01人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.01人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.01人)	派遣世帯数 (単位:世帯)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	派遣時間数 (単位:時間)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	B	見直し (理由) 重度障害者の在宅での生活支援と自立促進に寄与しているが、民間業者等でも一定の相談やアドバイスは可能であることから、他都市の状況等を踏まえ、必要性も含めた制度のあり方を検討すべきである。
24	収納率向上特別対策事業	市民局 国民健康保険課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和59年度 【概要】国民健康保険税の収納率向上を目指し、徴収体制等の充実・強化を図る。 【対象者】国民健康保険納税義務者 【具体的な活動内容】 ・徴収体制の充実 ・コンビニ収納、滞納整理支援システムの運用、納税嘱託員の活用 ・滞納処分の強化 ・滞納整理事務、特別催告状、保険証更新時催告状の送付	特会(県補助)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.80人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.80人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.80人)	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.80人)	コンビニ収納件数 (単位:件)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	現年課税分収納率 (単位:%)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	B	見直し (理由) 収納率が目標値に届いていないことから、滞納整理の取組を一層強化するとともに、減少傾向にある口座振替世帯数の増加に向けた取組も強化すべきである。

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度			
25	ジェネリック医薬品利用促進事業	市民局 国民健康保険課	啓発・広報	○事業開始年度 平成23年度 【概要】ジェネリック医薬品の使用を促進し、被保険者の医療費負担の軽減等を図るため、服用した先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担額の差額(削減額)などを記載したお知らせを送付する。 【対象者】次の要件を全て満たす者 ①35歳以上の者、②1人当たり、200円以上の削減効果が見込める者、③投与期間(服薬数量)7日以上 ※腫瘍用薬及び公費負担レセプトは除く 【具体的な活動内容】差額通知を送付する。 ・23年度 8,983件(2月) ・24年度 8,021件(6月)、7,657件(9月)、7,127件(12月)、7,929件(3月) ・25年度 7,420件(6月)、7,089件(9月)、6,650件(12月)、7,834件(3月)	特会(国・県補助)	[概算コスト] 1,433 [内訳] (内訳) ・決算額 641 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 3,004 [内訳] (内訳) ・決算額 2,219 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 2,877 [内訳] (内訳) ・決算額 2,099 ・人件費 778 (0.10人)	[概算コスト] 3,330 [内訳] (内訳) ・予算額 2,556 ・人件費 774 (0.10人)	通知件数 (単位:件) [目標値] 9,000 [実績値] 8,983 達成率 99.8%	[目標値] 30,000 [実績値] 30,634 達成率 102.1%	[目標値] 30,000 [実績値] 28,993 達成率 96.6%	[目標値] 30,000 [実績値] 30,000 達成率 100.0%	ジェネリック医薬品利用率 (単位:%) [目標値] 66.6 [実績値] 30.0 達成率 45.0%	[目標値] 66.3 [実績値] 34.7 達成率 52.3%	[目標値] 66.3 [実績値] 36.4 達成率 54.9%	[目標値] 66.3 [実績値] 66.3 達成率 100.0%	A	B	見直し (理由) ジェネリック医薬品の使用による医療費負担の軽減等のために必要な事業であるが、さらに利用率を高められるよう、医師会等との連携も含め、より一層の利用促進に取り組むべきである。
26	診療報酬明細書点検事業	市民局 国民健康保険課	許認可・検査	○事業開始年度 昭和56年度 【概要】医療機関から連合会を通じて請求される診療報酬明細書を嘱託員を雇用し点検を行い、医療費の適正化を図る。 【対象者】鹿児島市国民健康保険被保険者 【具体的な活動内容】 ・レセプト(診療報酬明細書)の内容点検、縦覧点検など ・第三者行為求償事務の一部を鹿児島県国保連合会へ委託	特会(県補助)	[概算コスト] 31,458 [内訳] (内訳) ・決算額 23,535 ・人件費 7,923 (1.00人)	[概算コスト] 32,796 [内訳] (内訳) ・決算額 24,947 ・人件費 7,849 (1.00人)	[概算コスト] 32,267 [内訳] (内訳) ・決算額 24,491 ・人件費 7,776 (1.00人)	[概算コスト] 34,468 [内訳] (内訳) ・予算額 26,727 ・人件費 7,741 (1.00人)	レセプト点検枚数 (単位:枚) [目標値] 2,139,775 [実績値] 2,199,737 達成率 102.8%	[目標値] 2,199,737 [実績値] 2,228,085 達成率 101.3%	[目標値] 2,228,085 [実績値] 2,264,200 達成率 101.6%	[目標値] 2,264,200 [実績値] 2,264,200 達成率 100.0%	レセプト点検による効果額 (単位:千円) [目標値] 384,417 [実績値] 336,413 達成率 87.5%	[目標値] 336,413 [実績値] 352,332 達成率 104.7%	[目標値] 352,332 [実績値] 358,657 達成率 101.8%	[目標値] 358,657 [実績値] 358,657 達成率 100.0%	A	B	見直し (理由) 医療費の適正化を図るために必要な事業であるが、直営で行っているレセプト点検員による点検の効果額が減少傾向にあることから、費用対効果も含め、より効果的な点検のあり方について検討すべきである。
27	医療費通知事業	市民局 国民健康保険課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和56年度 【概要】医療費に対する理解と関心を高め、正しい受診、健康への自覚と認識を喚起するため、医療費の通知を送付する。 【対象者】鹿児島市国民健康保険被保険者 【具体的な活動内容】 ・国保全世帯を通知対象とし、年6回(12ヶ月分)の医療費通知を行う。	特会(県補助)	[概算コスト] 19,792 [内訳] (内訳) ・決算額 18,207 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 21,357 [内訳] (内訳) ・決算額 19,787 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 23,660 [内訳] (内訳) ・決算額 22,105 ・人件費 1,555 (0.20人)	[概算コスト] 25,963 [内訳] (内訳) ・予算額 24,415 ・人件費 1,548 (0.20人)	延べ通知世帯数 (単位:世帯) [目標値] 370,693 [実績値] 375,891 達成率 101.4%	[目標値] 375,891 [実績値] 378,674 達成率 100.7%	[目標値] 378,674 [実績値] 382,731 達成率 101.1%	[目標値] 382,731 [実績値] 382,731 達成率 100.0%	医療費に対する理解の高まりと、正しい受診に対する認識の喚起 [目標値] 370,693 [実績値] 375,891 達成率 101.4%	[目標値] 378,674 [実績値] 378,674 達成率 100.0%	[目標値] 382,731 [実績値] 382,731 達成率 100.0%	[目標値] 382,731 [実績値] 382,731 達成率 100.0%	A	B	見直し (理由) 医療費に対する理解と関心を高めるために必要な事業であるが、22年4月から医療機関の窓口で医療費の内容のわかる領収書等の交付が義務化されたことや、他都市の状況なども踏まえ、通知回数のある方について検討すべきである。
28	納付組合長保険委員事業	市民局 国民健康保険課	その他	○事業開始年度 昭和44年度 【概要】国民健康保険事業を円滑に運営するため、また国民健康保険税の納付の利便を図るため、保険委員納付組合(長)を設け、保険税の徴収や納税通知書の配布を行う。 【対象者】保険委員による徴収希望の被保険者 【具体的な活動内容】 ・納付組合による保険税徴収 ・保険委員による納税通知書等の配布	特会	[概算コスト] 24,100 [内訳] (内訳) ・決算額 23,466 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 21,703 [内訳] (内訳) ・決算額 21,075 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 19,050 [内訳] (内訳) ・決算額 18,428 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 20,570 [内訳] (内訳) ・予算額 19,951 ・人件費 619 (0.08人)	納付組合数 (単位:組合) [目標値] 374 [実績値] 365 達成率 97.6%	[目標値] 365 [実績値] 351 達成率 96.2%	[目標値] 351 [実績値] 335 達成率 95.4%	[目標値] 335 [実績値] 335 達成率 100.0%	納付組合世帯収納率 (単位:%) [目標値] 100 [実績値] 97.8 達成率 97.8%	[目標値] 100 [実績値] 98.2 達成率 98.2%	[目標値] 100 [実績値] 98.5 達成率 98.5%	[目標値] 100 [実績値] 100 達成率 100.0%	A	B	見直し (理由) 納付組合については、組合数が年々減少するとともに、加入世帯数も大幅に減少してきていることから、今後の制度のあり方について検討すべきである。
29	広報活動事業	市民局 国民健康保険課	啓発・広報	○事業開始年度 平成15年度 【概要】国民健康保険の制度の趣旨や事業内容を市民に周知し、円滑な国保運営を図る。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・広報紙「ひまわり」(年2回、5・2月)の配布 ・広報パンフレット「国保だより」(年1回)、国民健康保険事業概要(年1回)の発行	特会(国・県補助)	[概算コスト] 5,702 [内訳] (内訳) ・決算額 4,514 ・人件費 1,188 (0.15人)	[概算コスト] 5,669 [内訳] (内訳) ・決算額 4,492 ・人件費 1,177 (0.15人)	[概算コスト] 5,727 [内訳] (内訳) ・決算額 4,561 ・人件費 1,166 (0.15人)	[概算コスト] 6,129 [内訳] (内訳) ・予算額 4,968 ・人件費 1,161 (0.15人)	広報紙「ひまわり」配布世帯数(1回平均) (単位:世帯) [目標値] 274,681 [実績値] 274,681 達成率 100.0%	[目標値] 275,287 [実績値] 275,287 達成率 100.0%	[目標値] 276,211 [実績値] 276,211 達成率 100.0%	[目標値] 277,000 [実績値] 277,000 達成率 100.0%	国民健康保険制度の趣旨普及の徹底 [目標値] 274,681 [実績値] 274,681 達成率 100.0%	[目標値] 275,287 [実績値] 275,287 達成率 100.0%	[目標値] 276,211 [実績値] 276,211 達成率 100.0%	[目標値] 277,000 [実績値] 277,000 達成率 100.0%	A	B	見直し (理由) 国保制度の内容を周知・説明することは必要であるが、制度内容が多岐にわたることから、国保だよりなどのパンフレット作成に当たっては他都市の事例を参考にするなど、見やすく、わかりやすい紙面にすべきである。
30	自主防災組織育成促進事業	市民局 危機管理課	助成・育成	○事業開始年度 昭和59年度 【概要】災害による被害防止および軽減を図るため、共助の核となる自主防災組織の結成及び活動の促進を図るとともに、資機材整備や防災訓練に対する補助を行い、地域における共助体制の確立を図る。 【対象者】自主防災組織 【具体的な活動内容】 ・自主防災組織の結成等に伴う資機材整備に対する補助金の交付 ・自主防災組織が行う活動に対する助成金の交付	市単	[概算コスト] 9,923 [内訳] (内訳) ・決算額 8,338 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 12,406 [内訳] (内訳) ・決算額 10,836 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 11,006 [内訳] (内訳) ・決算額 9,451 ・人件費 1,555 (0.20人)	[概算コスト] 10,818 [内訳] (内訳) ・予算額 9,270 ・人件費 1,548 (0.20人)	自主防災組織活動助成件数 (単位:件) [目標値] 194 [実績値] 141 達成率 72.7%	[目標値] 228 [実績値] 201 達成率 88.2%	[目標値] 264 [実績値] 205 達成率 77.7%	[目標値] 281 [実績値] 205 達成率 73.3%	自主防災組織結成数 (単位:団体) [目標値] 438 [実績値] 455 達成率 103.9%	[目標値] 495 [実績値] 528 達成率 106.7%	[目標値] 578 [実績値] 561 達成率 97.1%	[目標値] 596 [実績値] 596 達成率 100.0%	A	B	見直し (理由) 自主防災組織の育成は必要であるが、結成後の活動件数が十分とは言えないことから、継続的な活動促進に取り組むべきである。

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度				25年度	26年度
31	木造住宅耐震診断・耐震改修工事補助事業	建設局 建築指導課	助成・育成	○事業開始年度 平成20年度 【概要】木造住宅の耐震診断・改修工事の経費の一部を補助し、安全性の向上を図ることにより、安心安全なまちづくりを推進する。 【対象】昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅35,000棟(平成20年度住宅土地統計調査の推計値) 【具体的な活動内容】・耐震診断、耐震改修への補助 ・対象者への啓発活動 市民のひろばやホームページへの補助内容の掲載 対象住宅の所有者へダイレクトメール送付(補助制度案内及びアンケートによる意向調査) ・耐震診断 補助率:2/3、限度額:30.9千円 ・耐震改修 補助率:1/3、限度額:300千円	国補助	[概算コスト] 2,719 (内訳) ・決算額 2,402 ・人件費 317 (0.04人)	[概算コスト] 4,703 (内訳) ・決算額 4,389 ・人件費 314 (0.04人)	[概算コスト] 2,662 (内訳) ・決算額 2,351 ・人件費 311 (0.04人)	[概算コスト] 4,837 (内訳) ・予算額 4,527 ・人件費 310 (0.04人)	耐震診断の補助件数 (単位:件)	[目標値] 50 [実績値] 31 <達成率> 62.0%	[目標値] 50 [実績値] 24 <達成率> 48.0%	[目標値] 40 [実績値] 19 <達成率> 47.5%	[目標値] 30 [実績値] 19 <達成率> 62.0%	耐震化された木造住宅件数 (単位:件)	[目標値] 10 [実績値] 5 <達成率> 50.0%	[目標値] 20 [実績値] 15 <達成率> 75.0%	[目標値] 20 [実績値] 6 <達成率> 30.0%	[目標値] 12 [実績値] 6 <達成率> 50.0%	A	B	見直し (理由) 安心安全なまちづくりを推進するため、必要な事業であるが、補助件数が目標値の約5割程度となっていることから、意識の低い高齢者への周知を工夫するなど、広報周知のあり方について見直すべきである。
32	民間建築物アスベスト対策事業	建設局 建築指導課	助成・育成	○事業開始年度 平成18年度 【概要】民間建築物におけるアスベストの分析調査や除去等の経費に対する補助を行い、アスベストの飛散による健康被害を防止し、市民の安全を確保する。 【対象】概ね昭和30年から平成元年末までに建築された全ての民間建築物 【具体的な活動内容】 ・分析調査、除去等への補助 ・補助対象者への啓発活動 分析調査や除去等が必要な建築物の所有者に対する個別訪問 関係団体に所有者への啓発や事業の周知を要請 ・分析調査 補助率:全額、限度額:250千円 ・除去等 補助率:2/3、限度額:1630千円	国補助	[概算コスト] 5,603 (内訳) ・決算額 5,286 ・人件費 317 (0.04人)	[概算コスト] 5,015 (内訳) ・決算額 4,701 ・人件費 314 (0.04人)	[概算コスト] 2,531 (内訳) ・決算額 2,220 ・人件費 311 (0.04人)	[概算コスト] 6,450 (内訳) ・予算額 6,140 ・人件費 310 (0.04人)	分析調査の補助件数 (単位:件)	[目標値] 10 [実績値] 5 <達成率> 50.0%	[目標値] 10 [実績値] 3 <達成率> 30.0%	[目標値] 10 [実績値] 6 <達成率> 60.0%	[目標値] 5 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	除去等が行われた建築物 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 1 <達成率> 33.3%	[目標値] 3 [実績値] 1 <達成率> 33.3%	A	B	見直し (理由) アスベスト対策の分析調査や除去が未実施の民間建築物があることから、関係団体とも協力し、未実施建築物の解消が図られるよう、さらなる周知・指導に取り組むべきである。
33	避難行動要支援者避難支援等事業	市民局 危機管理課	その他	○事業開始年度 平成18年度 【概要】災害時に自力で避難することが困難な者について名簿を作成し、支援関係者と情報共有を図るなど、地域の中での支援体制を整備する。 【対象者】要介護3以上、身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A判定等に該当する居宅生活者。 【具体的な活動内容】 ・市が避難行動要支援者の名簿を作成 ・民生委員による、避難支援等関係者への平常時の情報提供についての意思確認調査、および旧制度登録者の現状把握 ・避難支援者の選定など避難に関する個別支援計画の作成	市単	[概算コスト] 2,582 (内訳) ・決算額 997 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 2,420 (内訳) ・決算額 850 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 2,437 (内訳) ・決算額 493 ・人件費 1,944 (0.25人)	[概算コスト] 3,410 (内訳) ・予算額 1,088 ・人件費 2,322 (0.30人)	名簿登録者数 (単位:人)	[目標値] 7,385 [実績値] 7,385 <達成率> 100.0%	[目標値] 6,899 [実績値] 6,899 <達成率> 100.0%	[目標値] 6,209 [実績値] 6,209 <達成率> 100.0%	[目標値] 27,000 [実績値] 27,000 <達成率> 100.0%	避難支援者が選定されている避難行動要支援者の割合 (単位:%)	[目標値] 56 [実績値] 43.5 <達成率> 77.7%	[目標値] 56 [実績値] 43.4 <達成率> 77.5%	[目標値] 56 [実績値] 42.5 <達成率> 75.9%	[目標値] 56 [実績値] 56 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 地域における支援体制の整備は必要であるが、法改正に伴う名簿登録者数の増加に伴い、避難支援者のさらなる不足が予想されることから、町内会や自主防災組織等とも連携を図り、より一層避難支援者の確保を進めるべきである。
34	克灰袋配布事業	環境局 環境衛生課	市民サービス	○事業開始年度 昭和60年度 【概要】降灰対策の一助として、宅地内降灰の円滑な除去を図るために降灰のあった地域の一般家庭に克灰袋を無償配布するとともに、各支所及び福祉館等にも克灰袋を準備し、克灰袋の円滑な活用を行う。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・降灰のあった地域の一般家庭に克灰袋を無償配布 ・本庁・各支所及び福祉館等において、克灰袋を希望する市民に適宜配布	市単	[概算コスト] 16,924 (内訳) ・決算額 16,766 ・人件費 158 (0.02人)	[概算コスト] 21,943 (内訳) ・決算額 21,786 ・人件費 157 (0.02人)	[概算コスト] 23,089 (内訳) ・決算額 22,933 ・人件費 156 (0.02人)	[概算コスト] 31,658 (内訳) ・予算額 31,503 ・人件費 155 (0.02人)	配布箇所 (単位:箇所)	[目標値] 51 [実績値] 51 <達成率> 100.0%	[目標値] 51 [実績値] 51 <達成率> 100.0%	[目標値] 53 [実績値] 53 <達成率> 100.0%	[目標値] 53 [実績値] 53 <達成率> 100.0%	配布枚数 (単位:枚)	[目標値] 3,226,797 [実績値] 3,226,797 <達成率> 100.0%	[目標値] 3,689,444 [実績値] 3,689,444 <達成率> 100.0%	[目標値] 3,685,750 [実績値] 3,685,750 <達成率> 100.0%	[目標値] 3,685,750 [実績値] 3,685,750 <達成率> 100.0%	C	B	見直し (理由) 降灰の円滑な除去を図るために必要な事業であるが、当事業において購入する事業所用克灰袋は、私立幼稚園も事業所として配布対象となる予定であることから、私立幼稚園克灰袋配布事業と統合するとともに、克灰袋に広告を掲載するなど、経費の縮減策を検討すべきである。
35	サンエールフェスタの開催	市民局 男女共同参画推進課	イベント	○事業開始年度 平成7年度 【概要】男女共同参画社会の実現に向けて、市民と共に考え行動する参画型イベントを開催することによって、広く男女共同参画の意識を醸成するとともに、イベントを通じて市民の情報発信や交流を支援する。 【対象者】鹿児島市内に在住・在勤・在学する人 【具体的な活動内容】 ・男女共同参画に関する講演会、ワークショップ、映画上映会、女性のための無料法律相談、雑誌リサイクルフェア、手づくりひろば作品展示	市単	[概算コスト] 3,359 (内訳) ・決算額 2,091 ・人件費 1,268 (0.16人)	[概算コスト] 3,447 (内訳) ・決算額 2,191 ・人件費 1,256 (0.16人)	[概算コスト] 3,428 (内訳) ・決算額 2,184 ・人件費 1,244 (0.16人)	[概算コスト] 3,648 (内訳) ・予算額 2,409 ・人件費 1,239 (0.16人)	男女共同参画関係企画参加者数 (単位:人)	[目標値] 1,980 [実績値] 1,066 <達成率> 53.8%	[目標値] 1,070 [実績値] 911 <達成率> 85.1%	[目標値] 1,600 [実績値] 1,141 <達成率> 71.3%	[目標値] 1,600 [実績値] 1,600 <達成率> 100.0%	参加者アンケート評価(とても良い+良いの割合) (単位:%)	[目標値] 100 [実績値] 91.5 <達成率> 91.5%	[目標値] 100 [実績値] 77.4 <達成率> 77.4%	[目標値] 100 [実績値] 83.4 <達成率> 83.4%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 男女共同参画社会の実現のために必要な事業であるが、参加者数が目標に届いていないことから、生涯学習分野とも連携した企画を検討するなど、イベント内容の見直しをすべきである。
36	こどもまちづくり探検隊開催事業	建設局 都市計画課	イベント	○事業開始年度 平成13年度 【概要】夏休みの特別企画として、タウンウォッチングを行いながら、まちづくりの課題や魅力を探ることで、本市の将来を担うこどもたちに、まちづくりへの興味や関心を高めるきっかけをつくるものである。 【対象者】市内に住むか、通学する小学5・6年生、中学生 【具体的な活動内容】 ・バスに乗り、都市計画事業の見学など、本市のまちづくりに関係することを幅広く体験する。 費用負担:無料、開催時期:夏休み期間、見学場所:市内一円、開催回数:年1回	市単	[概算コスト] 1,939 (内訳) ・決算額 354 ・人件費 1,585 (0.20人)	[概算コスト] 2,008 (内訳) ・決算額 438 ・人件費 1,570 (0.20人)	[概算コスト] 1,883 (内訳) ・決算額 328 ・人件費 1,555 (0.20人)	[概算コスト] 2,294 (内訳) ・予算額 746 ・人件費 1,548 (0.20人)	参加者数 (単位:人)	[目標値] 120 [実績値] 116 <達成率> 96.7%	[目標値] 120 [実績値] 132 <達成率> 110.0%	[目標値] 120 [実績値] 122 <達成率> 101.7%	[目標値] 120 [実績値] 120 <達成率> 100.0%	「まちづくりの学習の参考になった」と回答した割合 (単位:%)	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 98 <達成率> 98.0%	[目標値] 100 [実績値] 97 <達成率> 97.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	A	B	見直し (理由) 子どもたちのまちづくりへの興味や関心を高めるために必要な事業であるが、グッズ配布や人件費などコストがかかっていることから、経費面での見直しを図るべきである。

【評価結果:見直し】

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標名	23年度	24年度			
37	かごしま水族館の利用促進	建設局 管理課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成9年度 【概要】かごしま水族館のイベントの実施など、更なる利用促進を図りながら、管理運営を行う。 【対象者】施設利用者 【具体的な活動内容】「黒潮浪漫海道」をメインテーマに、黒潮のたどる南西諸島や鹿児島島の海に暮らす魚たちを、多彩な水槽で紹介する。	市単	[概算コスト] 697,202 (内訳) ・決算額 696,568 ・人件費 634 (0.08人)	[概算コスト] 707,813 (内訳) ・決算額 707,185 ・人件費 628 (0.08人)	[概算コスト] 718,878 (内訳) ・決算額 718,256 ・人件費 622 (0.08人)	[概算コスト] 738,695 (内訳) ・予算額 738,076 ・人件費 619 (0.08人)	開館日数 (単位:日) 361 [実績値] 361 <達成率> 100.0%	[目標値] 361 [実績値] 361 <達成率> 100.0%	[目標値] 361 [実績値] 361 <達成率> 100.0%	[目標値] 361 [実績値] 361 <達成率> 100.0%	入館者数 (単位:人) 690,000 [実績値] 687,810 <達成率> 99.7%	[目標値] 692,000 [実績値] 652,382 <達成率> 94.3%	[目標値] 690,000 [実績値] 641,948 <達成率> 93.0%	[目標値] 670,000	A	B	見直し (理由) 市民の余暇の活用や本市の観光振興に資するため必要な事業であるが、入館者数が減少していることから、魅力あるイベントの創出や広報周知の充実など、さらなる入館者増に取り組むべきである。
38	地域景観掘り起こし事業	建設局 都市景観課	啓発・広報	○事業開始年度 平成21年度 【概要】景観形成に対する市民意識の高揚を図るためのソフト施策を実施する。 【対象者】市民、事業者、各種団体 【具体的な活動内容】 ・景観アドバイザーの派遣 ・住民主体の景観まちづくり実務経験者を講師とする勉強会の開催 ・小学生等を対象とした景観まちづくり学習の開催 ・景観写真パネル展の開催 ・景観写真コンテスト(隔年)、景観まちづくり賞(隔年)	市単	[概算コスト] 4,408 (内訳) ・決算額 446 ・人件費 3,962 (0.50人)	[概算コスト] 7,275 (内訳) ・決算額 2,723 ・人件費 4,552 (0.58人)	[概算コスト] 5,527 (内訳) ・決算額 1,639 ・人件費 3,888 (0.50人)	[概算コスト] 7,878 (内訳) ・予算額 3,388 ・人件費 4,490 (0.58人)	景観アドバイザーの派遣回数 (単位:回) 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1	参加人数 (単位:人) 19 [実績値] 19 <達成率> 100.0%	[目標値] 19 [実績値] 19 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20	A	B	見直し (理由) 市民の景観に対する意識の高揚を図るために必要な事業であるが、景観まちづくり学習の事業効果を把握できるようなアンケート等を実施するとともに、景観アドバイザーがさらに活用されるよう広報周知策を工夫すべきである。